

## 第四次高知市子ども読書活動推進計画（案）へのご意見に対する考え方

第四次高知市子ども読書活動推進計画（案）について、令和6年11月19日（火）から令和6年12月18日（水）まで市民の皆様からのご意見を募集しましたところ、2名の方から7件のご意見をいただきました。

お寄せいただいた意見とそれぞれに対する考え方について、下記のとおり取りまとめましたので公表します。  
ご意見をお寄せいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>乳幼児は絵本を大人に読んでもらうため、「読書」という言葉はなじまない</p> <p>(計画案) 子どもの読書経験は、身近な大人から本を読んでもらい、その楽しさを共有することの積み重ねから始まります。そのため、大人と子どもと一緒に読書を楽しむ機会を継続して持つことができるよう働きかける必要があります。 特に、乳幼児期における読書経験は、読書活動の出発点として大変重要です。乳幼児期に大人と一緒に本に出会い、「楽しい」経験を共有できる取組を行い、読書に対する興味、関心を高め、読書習慣の定着につながるよう図ります。</p>	<p>わかりやすい表現となるよう、いただいたご意見を参考とし、以下のとおり変更します。</p> <p>■計画書19ページ：第5章－1－(1) (変更後) 子どもの読書経験は、身近な大人から本を読んでもらい、その楽しさを共有することの積み重ねから始まります。そのため、大人と子どもと一緒に本を楽しむ機会を継続して持つことができるよう働きかける必要があります。 特に、乳幼児期における読み聞かせから始まる読書経験は、読書活動の出発点として大変重要です。乳幼児期に大人と一緒に本に出会い、「楽しい」経験を共有できる取組を行い、読書に対する興味、関心を高め、読書習慣の定着につながるよう図ります。</p>
2	<p>学校と同様、幼稚園・保育園等においても図書購入費を充実してもらいたい</p>	<p>絵本は子どもの成長・発達のために重要な保育材料（素材）の一つであると考えています。現在、各教育・保育施設においては、子どもの実態に合わせて様々な保育材料を整えながら保育にあたっており、予算としては消費費の枠内で購入をしているところです。今後も、絵本はもちろん子どもの成長に必要な素材を各園で検討し、必要に応じてより良い素材を購入していきます。 併せて、図書館等の関係機関と連携し、豊富な図書を子どもたちに届けられるよう工夫しながら読書環境の充実を図っていきます。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	絵本の貸し出しに対する具体的な取組を計画に記載してほしい	<p>絵本の貸出しに対する取組は各園によって異なるため、具体的な取組を計画に記載することは難しいですが、絵本の貸出しにあたっては、家庭における読み聞かせや絵本を通して子どもと向き合うことの大切さなど、絵本が果たす役割やその重要性について保育者が認識した上で取り組むことが重要です。それを保護者に伝えていくことも保育者の大切な役割であることから、これらを踏まえ、保育者の資質の向上に向けた研修等について検討をしていきます。</p> <p>なお、計画書の一部を以下のとおり変更します。</p>
4	保育の中での月刊絵本の役割、絵本を読むことの大切さを学ぶための研修の機会の充実を図ってほしい	<p>■計画書20ページ：第5章－2－(2)－② (修正後) 月刊絵本や紙芝居、大型絵本等も活用し、子どもが興味を持てるようにする。</p> <p>■計画書20ページ：第5章－2－(3)－③ (修正後) 保護者に親子で絵本に触れる大切さを伝え、家庭への絵本の貸出しを行う。さらに、…(以降、省略)</p>
5	親子絵本ふれあい事業「よちよちランド」だけでなく、小学校入学時にも本のプレゼントを検討してほしい	<p>ご提案いただいた内容は、子どもの健やかな成長に寄与する、大変意義ある取組であると考えます。</p> <p>しかしながら、厳しい財政状況であるため、現時点では対応が難しい状況にあることから、子どもたちがいつでも本に触れ、親しむことができるよう、図書館の利活用を通して読書活動を推進していきます。</p>
6	学校図書館業務の土台となる「学校図書館情報システム」未設置校への整備を進めてもらいたい	<p>学校図書館情報システムは、図書館の蔵書管理、貸出・返却管理、利用者管理、資料検索などの機能を有しており、導入することにより業務の効率化が図れることは承知しております。しかしながら、厳しい財政状況であるため、限られた予算の範囲内で教育のICT化の推進・維持管理をしており、国の整備計画「教育のICT化に向けた5か年計画」に明記されているものを優先して整備しているところです。「学校図書館情報システム」未設置校への整備については、一定ICT環境が整った段階で着手していきたいと考えています。</p>
7	学校図書館の重要な担い手である学校図書館支援員について、現在の雇用形態を改善し、「安定して職務に従事」できる環境を整えてほしい	<p>本市における学校図書館支援員の役割は非常に重要であると認識しています。雇用形態は会計年度任用職員ですが、その任用にあたっては、勤務評価や本人の希望により、最長3年間は公募によらず引き続き採用できる制度となっており、給与面についても高知市全体として処遇の改善に努めているところです。</p> <p>今後も司書教諭の専任配置を要望していくとともに、各学校の学校図書館担当教員である司書教諭等と連携しながら、学校図書館運営を進めていきます。</p>